

令和4年度

大阪市生涯学習まちづくり市民大学
「いちようカレッジ」報告書



まちづくり

町
たね



いちよう
カレッジ

OSAKA CITY

まちの魅力を知りたい。まちの課題を解決したい。自分のできることから始めたい。
「いちようカレッジ」は、そんな人と、これからの「まちづくり」をいっしょに考えます。

令和4年度のいちょうカレッジ受講者数

全 **13** コース のべ約 **1,500** 人



いちょう
カレッジ

OSAKA CITY

「いちょうカレッジ」とは

誰もが安心でき、住み続けたいまちをめざして

それぞれがまちの「課題」をもち寄り、まちづくりの「ヒント」をもち帰る。
いちょうカレッジがめざすのは、頼れるまちづくりのプラットフォームです。
開かれた市民大学として、「学んだことを地域で活かす」をテーマに、
学びと実践の循環を実現し、魅力的なまちづくりをサポートしていきます。

「やってみたい」が見つかる、講座・グループワーク・まち歩き体験などをはじめとした、入門科、プレ本科、本科、専科の4種類のコースからなる、体系的かつ多彩なカリキュラムで、あなたの学びたい気持ちを応援します。

も く じ



まちづくりの第一歩。まずは参加してみたい方へ

大阪のまち・文化コース ～食文化～	4
大阪のまち探検コース ～古地図の街をのぞいてみよう～	5



これから地域と関わってみたい方へ

まちクリエイイト!入門コース「ブリコラージュまちづくり」講座	6
大阪の魅力再発見コース	7



学んだことを地域で活かすための全15回

まちクリエイイト!実践コース「ブリコラージュまちづくり」講座	8
大阪の魅力発信コース	12
本科特別コース「まちづくりの種まき」	16



地域活動に役立つ知識や技術にみがきをかける

いのちを守る防災コース	18
こどもと地域社会コース	19
まちの「語りべ」になろう	20
伝わる情報発信力アップコース	21
取材力スキルアップコース	22
共有・共感・協働する仲間づくりコース	23
受講実績・アンケート結果	24
次年度のいちょうカレッジ・お問い合わせ	26



入門科①

大阪のまち・文化コース～食文化～

大阪のまちで身近に触れられる文化について、知り、考え、楽しみながら学びました。

日時 5/25～6/15 毎週水曜日 10:00～12:00 全4回

参加者数 38人(のべ127人) 会場 総合生涯学習センター

1 5/25

食都大阪の100年フード「コナモン文化」の魅力と実力!

コナモン文化の歴史や100年後の食文化継承について、
麵益力のススメ&コナモン音頭・体操の紹介

熊谷 真菜

食文化研究家/
日本コナモン協会会長

【体操指導】
阿部 未奈子

2 6/1

大阪の食文化からみた淀川産(もん)の今昔

江戸時代には物流そして文化の大動脈であった淀川を振り返り、高度
成長時代を乗り越え、蘇りつつある淀川が持つ大阪の食料源について

笹井 良隆

一般社団法人 淀川ブランド
推進協議会理事 /
NPO法人 浪速魚菜の会代表理事

3 6/8

なにわの伝統野菜と大阪出汁文化

なにわ伝統野菜を「知る・見る」という観点から考え、大阪の旬の野菜
の味わい方や、様々な食材から淹汁(だし)をとる大阪出汁の魅力について

4 6/15

キセキの海藻こんぶにまつわるお話

北前船の昔より日本の昆布文化の中心であった大阪が、環境悪化や
社会の変化により問題を抱える伝統文化の真の価値について

土居 純一

こんぶ土居4代目店主



講師:熊谷真菜さんと阿部未奈子さん(第1回)



いろいろな淀川産(もん)(第2回)



大阪の昆布文化について(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 伝統的な大阪の食文化をいろいろ知る事ができました。
- 一言ももらさず聞いて覚えておきたいと思えるお話ばかりでした。
- 内容全般において新しい発見や気づきがあり、納得できるものでした。
将来を見据えての示唆のある内容でした。



大阪のまち探検コース ～古地図の街をのぞいてみよう～

古地図の中から昔の地名や地形などのまちの様子を取り上げ、
現地を訪れてみたいくなるような大阪のまちの魅力を学びました。

日 時 5/31～6/21 毎週火曜日 14:00～16:00 全4回

参加者数 36人(のべ123人) 会 場 総合生涯学習センター

1

5/31

古地図で訪ねる大阪駅前ヒストリー

明治以降の大阪駅周辺の変遷と、「キタ」地域の当時の地名や
現在も残る地名の由来について

2

6/7

浪花と難波、大坂と大阪、それぞれの時代

「万葉集」「源氏物語」などの古典文学の中で見られる
「難波津」から見えてくる、当時の大阪の様子について

3

6/14

鶴橋、鰻谷、猫間川…大阪地名の動物たち

大阪市内における動物の名前がつく地名の紹介、
由来や時代ごとの変化について

4

6/21

福島、都島、中之島…島が彩る水都大阪

「島」や、「し」(さんずい)がつく、水に関する名前が多い
大阪の地名の由来や歴史について

本渡 章

作家・古地図コレクター



講師 本渡 章さん



講師所有の古地図の展示



受講者の声 (アンケートより)

- 今まで知らなかった大阪のことがらが勉強できた。大阪在住は長いのですが、改めて大阪に興味を持ちました。
- 時代ごとに異なる地図を拝見することが出来て、大阪の歴史的な推移が理解できた。
- 毎回詳しい資料を提供していただき、自分で調べる参考になりました。



まちクリエイト!入門コース 「ブリコラージュまちづくり」講座

身の回りのものを寄せ集め、試行錯誤しながら繋ぎあわせて何かをつくり出す「ブリコラージュ」の考え方や地域活動への活かし方をワークショップを中心に楽しみながら学びました。

日 時 8/25～9/22 毎週木曜日 19:00～21:00 全5回

参加者数 19人(のべ85人) 会 場 総合生涯学習センター

1 8/25

“オンガク”でブリコラージュ!

「ブリコラージュ」の考え方の紹介と、グループに分かれてメンバーの共通点を身の回りのもので音を鳴らして表現・共有するワークショップ

2 9/1

“カタチ”でブリコラージュ!

有名企業のロゴマークを参考に、自分の名前の1文字を使って自身のロゴマークを作成・共有するワークショップ

3 9/8

“エンゲキ”でブリコラージュ!

CMに必要な様々な要素の解説と、グループに分かれて「いちょうカレッジ」のCM作りを企画・配役から実演まで行うワークショップ

4 9/15

“アート”でブリコラージュ!その1

「つつむ」をテーマに、日常にある様々な「包まれている」物やアートの紹介とありがたい気持ちを「つつむ」アート作りのワークショップ

5 9/22

“アート”でブリコラージュ!その2

前回の講座で作成した「つつむ」アートの展覧会及び作品の発表・全体ふりかえり

山本 あつし

企画事務所「ならそら」
/事業プロデューサー



身の回りのもので音を鳴らして表現(第1回)



いちょうカレッジCMづくり
稽古中(第3回)



「つつむ」アート発表会(第5回)

受講者の声 (アンケートより)

- 普段考えたことのないテーマで、これから物の見方が変わりそうです。
- 他の参加者の方の考え方やものの捉え方の違いを感じられて面白かった。
- 何でも自由に、安心してチャレンジ出来る素敵な場所でした。



大阪の魅力再発見コース

大阪の魅力を再発見するために、大阪で活躍する講師の話やまち歩きを通して、大阪にまつわる文化や歴史などを学びました。

日 時 8/30～9/27 毎週火曜日 14:00～16:00 全5回

参加者数 24人(のべ92人) 会 場 総合生涯学習センター

1

8/30

大阪は日本最大の巡礼都市だった？

大阪のまちの魅力の紹介と、昔の大阪の文化・風習について

陸奥 賢

観光家/コモンズ・デザイナー/
社会実験者

2

9/6

大阪だからこそ生まれた講談の数々

講談から見る大阪の歴史や魅力の紹介

玉田 玉秀斎

講談師

3

9/13

ちんどん屋から見る大阪のまち 今昔

ちんどん屋の歴史や活動から見える大阪の魅力について

林 風見花/仮屋崎 郁子

ちんどん通信社/有限会社東西屋

4

9/20

歩いて発見！まちの魅力を探しに行こう

昨年度の本科修了生のガイドによるまち歩きの体験

陸奥 賢

令和3年度いちょうカレッジ修了生

5

9/27

大阪のまち歩きマップを眺めながら

まち歩きマップと大阪のまちの紹介

陸奥 賢



大阪で生まれた講談(第2回)



大阪のちんどん文化(第3回)



修了生のガイドでまち歩き(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 大阪に住んでいても知らないことが多いので、いろいろと教えてくださりありがとうございました。
- わかりやすい解説で大阪の歴史、伝統がよく理解できました。
- 大阪について再発見できました。

本科「まちクリエイト!実践コース」

主任講師からのメッセージ

「参加者が集まるか少し不安です」

受講者募集の前、大阪市立総合生涯学習センターの方からそう打ちかけられました。無理もありません。僕自身、最初のうちは「まちづくり」がテーマの講座でブリコラージュをテーマにするなんて少し尖りすぎかな…と感じていたのですから。

しかし、蓋を開けてみると満員御礼。「ブリコラージュって一体何やねんと興味を持った」と、逆に興味を惹いた様子でした。これだから大阪人っておもしろい。

「ブリコラージュ」とは、身の回りにあるものを寄せ集め、試行錯誤しながら何かをつくるという意味の言葉。1962年、フランスの人類学者であったレヴィ=ストロースが自著「野生の思考」の中で紹介し、広く知られるようになりました。

少子高齢化、気候変動、AIをはじめとする技術の発達、そしてパンデミックなど…先行き不透明な時代を生きる私たちには、従来の科学的思考に加えて、ブリコラージュのように人が本来持っているはずの「生きる知恵」が必要なのかもしれない。自由な視点や新しい発想によってヒト・モノ・コト・バショそれぞれの持ち味を発見し、それらをブリコラージュしていかしあう。そんな、ないものねだりではない「あるものいかし」な新しいまちづくり講座をつくりたい。そう考えたのが始まりでした。

講座では、身近な事例の「発見」、先進事例を知る「ケーススタディ」、感覚を鍛える「まち歩き」を繰り返しながら学び、最後にそれぞれの課題をブリコラージュによって解決する「マイ・ブリコラージュ・プロジェクト」を考え、発表しました。

全15回の講座を通して印象的だったのは、最初はただ漠然と「正解」を求めるだけだった受講者の皆さんが、回を重ねるごとに互いの特性を理解しあい、いかしあいながら、それぞれの「答え」を生み出していこうとする変化が見られたことでした。そこで起こっていたのはまさに「人のブリコラージュ」であり、未来のまちを変えていく小さな芽吹きであったと思います。

この講座での学びが受講者の皆さんそれぞれにとって、これからも様々な困難を乗り越えていく少しの助けになればこれほど嬉しいことはありません。



主任講師
山本 あつし



本科①

まちクリエイト！実践コース 「ブリコラージュまちづくり」講座

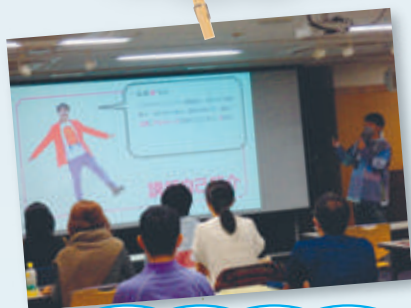
自由な視点や新しい発想で、「ヒト」・「モノ」・「コト」・「バショ」を見直して、それぞれの持ち味を活かし合う「ブリコラージュ」の手法を学び、これからのまちづくりを皆で考えました。

日 時 10/6～2/16 毎週木曜日 他 19:00～21:00 全15回

参加者数 22人(のべ248人) 会 場 総合生涯学習センター

1	10/6	オリエンテーションと自己紹介 ブリコラージュの基本的な考え方と、講師がこれまでプロデュースしてきたまちの場づくりの紹介、参加者全員の自己紹介。	
2	10/13	ブリコラージュって何だろう？ まちの魅力創造、観光、社会課題の解決など、様々な分野のブリコラージュを活用した魅力的な取り組みの紹介。	山本 あつし 企画事務所「ならそら」/ 事業プロデューサー
3	10/20	ブリコラージュの発見① 「あなたの日常の中のブリコラージュ事例」をテーマに発表・共有。	
4	10/27	ブリコラージュ・ケーススタディ①「アトリエコーナス」 ブリコラージュを活かした場づくり・まちづくり「アトリエコーナス」の事例紹介。	山本 あつし 白岩 高子 特定非営利活動法人 コーナス 代表
5	10/30 13:00～17:00	ブリコラージュ・まち歩き① まちに出て「超珍しいもの」を探してまちの魅力を掘り起こすフィールドワーク「超珍」の実施。	山本 あつし
6	11/17	ブリコラージュの発見② 「あなたの日常の中のブリコラージュ事例」をテーマに発表・共有。	
7	11/24	ブリコラージュ・ケーススタディ②kioku手芸館「たんす」 ブリコラージュを活かした場づくり・まちづくりkioku手芸館「たんす」の事例紹介。	山本 あつし 松尾 真由子 一般社団法人 brk collective 代表
8	11/27 13:00～17:00	ブリコラージュ・まち歩き② まちに出て「ツッコミポイント」を探す「ツッコミまち歩き」のフィールドワークの実施。	山本 あつし おおうえくにひろ タレント
9	12/8	ブリコラージュの発見③ 「あなたの日常の中のブリコラージュ事例」をテーマに発表・共有。	山本 あつし
10	12/15	ブリコラージュ・ケーススタディ③ゲストハウスとカフェと庭「釜ヶ崎芸術大学」 ブリコラージュを活かした場づくり・まちづくり「釜ヶ崎芸術大学」の事例紹介	山本 あつし 上田 假奈代 詩人・詩人・NPO法人 こえとことばとこころの部屋 (ココルーム)代表
11	12/12	マイ・ブリコラージュ・プロジェクト 課題共有 受講者それぞれが「ブリコラージュの手法を使って解決したい課題」について考え、共有しました。	
12	1/26		
13	2/2	マイ・ブリコラージュ・プロジェクト 発表会 それぞれが自由な形で「マイ・ブリコラージュ・プロジェクト」を発表しました。	山本 あつし
14	2/9		
15	2/16	ふりかえり	

講座風景



初回オリエンテーションの様子



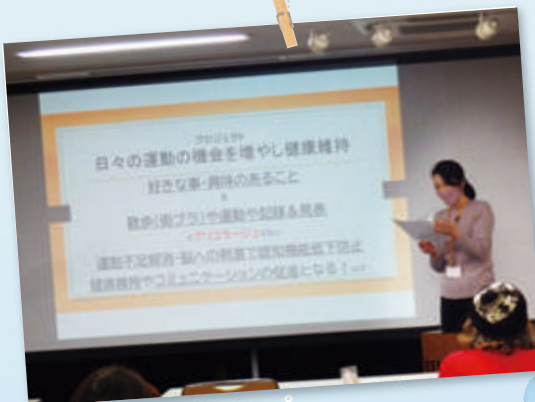
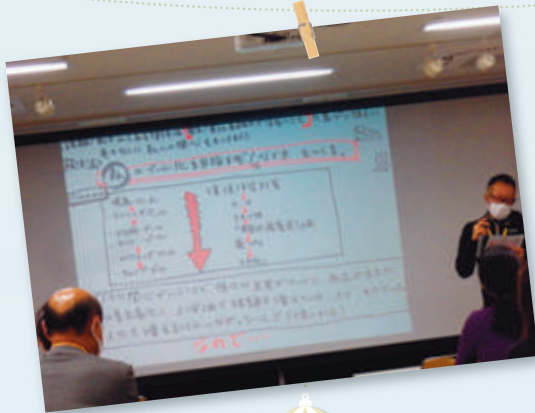
世界ツッコミまち歩き



休憩時間もわいわい

最終発表

自分自身が解決したいことや変化させたいことを、グリコラージュの手法によって解決する計画「マイ・グリコラージュ・プロジェクト」を発表しました。



受講者の声 (アンケートより)

- この講座を通して、自分の住んでいる街の問題点と街への思いを改めて認識しました。
- とにかく講座の雰囲気が良かったです。自分が発信することも大切ですが、人が話やすい雰囲気をつくるって、こんなに素敵なことなんだと先生を見て学びました。
- 様々な個性豊かな人々と、希望に満ちた講師の方に出会えた。

本科「大阪の魅力発信コース」

主任講師からのメッセージ

いちょうカレッジの主任講師になって6年目ですが、生涯学習の現場において、僕がもっとも重要だと考えているのは「受講生自身が主体的に学ぼうとする」ことだと思っています。流行りの言葉でいえば「アクティブ・ラーニング」ですが、学びは、ただ一方的に受け取るだけでは、まったく身に付きません。講師も、まるでレストランのメニューのように学びを提示して、それを受講生が漫然と消費するというのは、学びという名のサービス業に過ぎません。

本当の学びというのは、厨房を解放し、食材を渡して、自分たちでなんでもいいから料理を作ってみて、みんなで味わってみようと呼ぶことです。ちょっとやってみましょうと厨房に立たせてみる。そうして自分たちで考えて、あーだこーだと話し合いをして、ああでもないこうでもないで試行錯誤しながら作る料理こそが、いままで自分たちが、ただメニュー表で選んで食べてきた料理とは、まったく違った味わいのものとなります。自分たちで作ったという経験となり、そうだったのかという新しい発見があり、学ぶことの喜びに繋がります。

そういう最初の第一歩を踏み出すために、使いやすい調理道具を用意しているのですが、それが「まち歩きフォトスゴロク」というわけです。今年も3つの班が、まち歩きフォトスゴロクを用いて、まち歩きコース作成とガイドに挑戦してくれました。

1班は大阪ミナミ界隈の食と芸能をテーマに老舗の名店などを巡るコース。2班は中之島界隈の名建築を巡るコース。3班は西成の下町レトロな名所を巡るコースと、まったく異なるテーマ性のまち歩きとなりました。

まち歩きフォトスゴロクで、いちばん作成に時間がかかったのが3班でしたが、それはあまりにも紹介したいスポットが多すぎるという悩みからでした。コースが長すぎて、エリアが広すぎて、意見の集約に時間がかかったわけですが、結局、3班は「番外編」のまち歩きフォトスゴロクを作るという形で問題(?)を乗り切りました。これは嬉しい誤算といえますか、僕の想像以上の結果で、主体的な学びが発動すると、どんどんと学びが深まり、面白くなってくるということの証左でしょう。まち歩きフォトスゴロクが自然と2コースに増えてしまった。

学びの当事者性、主体性を体得する。自分から学び、みんなで学びを分かち合う。その経験こそが、次の学びにも繋がっていくと信じております。



主任講師
陸奥 賢



大阪の魅力発信コース

まちの魅力を掘り起こすための講座・グループワークや、
まち歩き体験・まち歩きガイドの実践を通して、大阪の人と
まちの魅力を伝えるエディターを育みました。

日 時 10/11～2/28 毎週火曜日 14:00～16:00 全15回

参加者数 23人(のべ231人) **会 場** 総合生涯学習センター

1	10/11	オリエンテーション 大阪のまちの魅力の紹介と、昔の大阪の文化・風習について	陸奥 賢 観光家/COMMONZ・デザイナー/ 社会実験者
2	10/18	まち歩きに出かけよう① 主任講師によるガイドでまち歩き(福島～お初天神)	陸奥 賢
3	10/25	まちと演劇～まちの魅力を再発見しよう!～ 伊丹市や八尾市の事例紹介/身近なまちの魅力について	高安 美帆 俳優/振付演出家 (エイトムビーズ・シアターカンパニー)
4	11/1	妖怪でまちの魅力を発信!～アートイベントで妖怪と共存できる社会を～ 日本人の暮らしと切っても切れない妖怪の魅力について	濱田 さち フリー編集者/ライター/ 妖精妖怪アートサロン 「イルミタイ」主宰
5	11/8	まち歩きスゴログについて/まち歩きガイドのコツ 過去のまち歩きスゴログの紹介と、作成するコツ・ポイントの解説	陸奥 賢
6	11/15	【ワークショップ】まち歩きスゴログの制作① グループに分かれてまち歩きスゴログの制作	
7	12/6	大阪の歴史を知りたくば「八低山」に登ろう 低山めぐりを通じた「歴史観光」のススメ	中島 淳 編集者/ 株式会社140B代表取締役
8	12/20	【ワークショップ】まち歩きスゴログの制作② グループに分かれてまち歩きスゴログの制作	陸奥 賢
9	1/17	【ワークショップ】まち歩きスゴログの制作③(完成) グループに分かれてまち歩きスゴログの制作	
10	1/24	まち歩きに出かけよう② 主任講師によるガイドでまち歩き(真田山周辺を巡る)	
11	1/31	まち歩きに出かけよう③ 主任講師によるガイドでまち歩き(茶臼山周辺を巡る)	
12	2/7	【最終発表】	
13	2/14	チャレンジ!まち歩きガイドの実践!	
14	2/21	各班で作成したまち歩きスゴログを使って、現地でまち歩きのガイドに挑戦	
15	2/28	全体振り返り・まとめ	

講座風景



初回オリエンテーション



主任講師によるまち歩き



まち歩きスゴロク制作風景



最終発表

班に分かれて気になるまちを取材し、街の魅力や見どころを詰め込んだ「まち歩きスガロク」を作成し、それぞれのコースでまち歩きを行いました。



1 班

「芸能とくいだおれのミナミをゆく」



2 班

「中之島今昔物語」



3 班

「西成マニアック下町物語」



受講者の声 (アンケートより)

- ムチャクチャ楽しかったです！積極的にになりました。
- チームで実施することで、1人では思いつかないようなコースを作れてよかったです。
- 大阪が魅力いっぱいのまちということが分かったのが一番の成果です。
- グループの人に出会えたことが嬉しかった。

本科特別コース「まちづくりの種まき」

主任講師からのメッセージ

去年に引き続き、今年も「まちづくりの種まき講座」を担当させていただきありがとうございました。今年後は、昨年も参加いただいた受講者の方の懐かしい顔を拝見し、安心感に包まれた空間の中で講座をさせていただくことができました。

講座の進め方としては、今年上半期に私の周りで起こった事例を紹介し、その後、実際のまちの姿を見学いただく街歩きツアーも開催しました。その他にも、まちづくりの種まき講座先輩方による地域活動の事例紹介や、それに至るまでの過程や気持ちの変化などもお話いただきました。また、テーマ「イベント」に沿って呼びました講師の先生方からは、現場で活動しているからこそ知り得る生の最新情報の紹介もあり、数々の事例を知ることは受講者の方々の刺激になったことと思います。

工夫した点としては、去年いただきましたアンケートの声を参考に、毎回の講座ではワークショップを積極的に行い、参加者同士による交流の場をつくったことです。それにより、講座終了後は講座で出会った方々同士でランチにいたり、グループでまちを探索されたりした方もいたようで、講座だけで留まらない動きがあったと報告をいただき、まちづくりの種まきコミュニティがここから育てばいいなと思った次第です。

そんな私自身は、今年度も多種多様な方々の想いや夢や価値観にふれることで、改めて社会やまちはいろんな人たちと共存しながら成り立っていることを実感しました。

来年度は、“まちも人も変化をすれば人の価値観も変わる”を前提に、自分自身のアップデートを行うことを忘れずに地域活動を行いたいと思います。

最後になりましたが、今年は特にあるドラマにあった「事件は現場で起きているんだ！」の名ゼリフを思い出すような一年であったと振り返りました。中津では新しいイベント「中津万博」を通して、地域活性化を図っておりますが、それらはすべて自分たちでつくるのではなく、地域にあるステークホルダー同士がつながり、地域デザインを行った上で実行されています。また、実行した後は、振り返りをし、次のアクションへ向けたアップデートをまた計画していくというサイクルで行っています。

来年度は、どんな出来事が起こるか私にもわかりません。しかし、これまで同様、まちづくりや地域活動の本質の軸をぶらさず、これからも持続可能にしていけることを心がけながら、そこから生まれた新しい価値をご紹介いただけるように精進したいと思います。



主任講師

山田 摩利子



本科特別コース「まちづくりの種まき」

まちのプロデュースを様々な立場で取り組んでいる人の実践事例を聞きながら、北区中津地域の取り組みをもとに、地域と人をつなぐイベントづくりの組み立て方を学びました。

日 時 10/15～11/26 毎週土曜日 10:00～12:00 全5回

参加者数 18名(のべ72名) 会 場 総合生涯学習センター

1 10/15

中津のまちづくり～まちづくりに大切なこと～

うめきた開発により大きく変化していくまち「中津」のまちづくりとイベント「中津万博」の紹介とまちのイベントについて、ワークを通して考え、発表と共有

山田 摩利子

一般社団法人うめらく代表理事/
大阪中津「関係案内所」なかつもりオーナー/
THANKS HOPアドバイザー/
地域福祉コーディネーター中津担当

2 10/22

まちに根ざすイベントづくりとは？

出会いや偶然を活かしたイベントと、まちづくりのビジョンについて学び、診断シートを通して自分の本質を知る

細川 裕之

オルガワークス株式会社専務取締役/
一般社団法人うめらく理事

3 11/ 5

イベントづくりはまちづくり

なぜイベントがまちづくりにとって大切なのかを公園の活用方法や事例を通して、グループワークで話し合い、中津のまちに出かける

山田 摩利子

【ゲストスピーカー】

勝谷 拓朗

東邦レオ株式会社/社会彫刻家(自称)/
交野おりひめ大学理事

松尾 裕美

令和3年度「まちづくりの種まき」修了生

4 11/12

まちづくりは人づくり～若者が育つ町のイベント～

まち×若者でつくる地域のイベントの実践事例を紹介

上野 幹夫

専門学校ESPエンタテインメント大阪
音楽芸能スタッフ科

5 11/26

これから広げる、広がるまちづくりの種

～振り返り&交流会～

講座を振り返り、自分の関わり方やできることを“見える化”する

山田 摩利子



まちの課題や未来予想図を考える(第1回)



イベントづくりに大切な事とは(第2回)



うめきた開発現場から中津地域へまち歩き(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

- いろいろな方々の考えを聞くことができ、つながりができて良かったです。
- まちづくりのむずかしさ、楽しさ、人と人のつながりは素晴らしいことを学びました。
- いろいろな話が聞けて、新しい自分への考え方が決まったような気がします。



いのちを守る防災コース

防災・減災のための備えや、多種多様な立場の人がいる避難生活や地域の防災に必要な考え方について、様々なテーマで学びました。

日 時 7/30～8/27 毎週土曜日 14:00～16:00 全5回

参加者数 25名(のべ105名) 会 場 総合生涯学習センター

1 7/30

大阪防災メソッド～地域総防災人材を目ざして～

地震や台風等、大阪で特に注意が必要な災害についての解説や、現役大学院生の講師から見た、若者目線の地域における防災活動の取組みについて

多田 裕亮

大阪防災プロジェクト / 防災士

2 8/ 6

ダイバーシティと防災

～あなたのまちに居る様々な人たち～

見えない障がいや、様々な背景を持つ方々の災害・避難時の課題について、ダイバーシティの視点から相互理解のための当事者による困りごとの紹介・解説

大谷 邦郎

情報発信コンサルタント / ジャーナリスト

元村 祐子

Office UnBalance 代表

いよた みのり

特定非営利活動法人 MixRainbow 理事長

3 8/13

「水害の備えと対策」

～淀川下流域の水害とマイタイムライン～

淀川下流域で起こりうる水害や、これまでの水害の歴史についてと水害に対する避難計画を考えるワークショップ「マイタイムライン」の体験

亀井 伸幸

淀川管内河川レンジャー
アドバイザー

4 8/20

ペット防災をきっかけにそれぞれの気付きへ

ペットと暮らす上で必要な防災の備えや、避難所で必要な「思いやり」をペットとの同行避難を通じて考えるワークショップの体験

三浦 律子

NPO法人ペット防災サポート協会
理事長

5 8/27

いのちを守るコミュニティ防災

南海トラフ地震や、その他の日常で起こりうる災害リスクについての解説とこれからの共助の中心となる「コミュニティ防災」について

生田 英輔

大阪公立大学都市科学・
防災研究センター 教授



講師 多田 裕亮さん(第1回)



大阪市内各地域の
防災ハザードマップ(第3回)



避難所での思いやりを考える
ワークショップ(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 防災の基礎から教えて頂いたので、非常に印象に残った。
- 色々考えるきっかけになった。自分でももっと深く調べていこうと思っています。
- 防災という1つのテーマに対して様々な視点から考えられるものだった。



こどもと地域社会コース

多様な子どもの居場所での取り組みや実践事例を通して、子どもを中心とした地域のつながりづくりや子どもに関わる地域課題について、知識を深め、地域での活動のヒントを学びました。

日 時 9/3～10/1 毎週土曜日 10:00～12:00 全5回

参加者数 37名(のべ123名) 会 場 総合生涯学習センター

- | | | | |
|---|------|--|---------------------------------------|
| 1 | 9/3 | 『子どもが生きる力』を守る居場所づくり
こどもの里の活動を通して、「こどもの命をど真ん中に、安心、安全と最善の利益を考える」居場所づくりに大切なことについて | 荘保 共子
認定NPO法人
こどもの里 理事長 |
| 2 | 9/10 | 子どもの生きづらさに寄り添う
～つながりと居場所づくり～
子どもの貧困、ヤングケアラー、発達課題など、現代社会における子どもの見えにくい生きづらさに、地域の大人がどう寄り添うかについて | 水流添 綾
一般社団法人
こもれび 代表理事 |
| 3 | 9/17 | コミュニティ型「こどもホスピス」における、地域に根ざした活動とは
生命を脅かす病気の子どもとその家族を支える「TSURUMIこどもホスピス」の取り組みと実践事例、地域との関わり方について | 水谷 綾
TSURUMIこどもホスピス・
ゼネラルマネージャー |
| 4 | 9/24 | 小さな学校の大きな挑戦
一民主的で持続可能な社会をめざして
認定NPO法人コクレオの森の活動紹介とオルタナティブスクール「箕面子どもの森学園」での子どもの主体性を育む教育について | 鍋内 郷子
認定NPO法人 コクレオの森 |
| 5 | 10/1 | いまから～ここから～ここから～
できることからはじめよう！
元保育士によるボランティア活動からNPO法人の運営に至るまでの体験談とワークを通して自分にできることについて考える | 松田 直美
NPO法人 KARALIN代表 |



居場所づくりに大切なことを考える(第1回)



対話の時間「教育って何だろう？」(第4回)



グループワークでそれぞれの考えを共有(第5回)

受講者の声 (アンケートより)

- 子どもを取り巻く環境をいろんな角度から知ることができました。
- ちょっとふっと立ち寄れる場所を増やしてほしいです。
- 地域での子育て、子どもを取り巻く社会を改めて変えていきたいと思いました。



まちの「語りべ」になろう ～語りべシアター制作・発表体験～

大阪のまちの魅力のを見つけ方や、歴史を調べるポイント、それを伝えるための方法を学び、「語りべシアター」の手法を用い、グループで大阪をテーマにしたストーリー作品の制作から発表までを体験しました。

日 時 7/5～8/23 毎週火曜日 14:00～16:00 全5回

参加者数 16名(のべ65名) 会 場 総合生涯学習センター

1 7/5

大阪の魅力を発掘・発信することは自分を再発見すること
語りべシアターとは／まちの魅力発掘・発信について
「語りべシアター:大和川ものがたり」の実演

2 7/12

語りべになろう《制作・発表準備》①オリエンテーション
グループ分け・取り組みテーマの設定

3 7/19

語りべになろう《制作・発表準備》②ものがたり制作
調べた資料や写真、イラスト等を使った「語りべシアター」の制作

4 8/2

語りべになろう《制作・発表準備》③
ものがたり制作/発表準備
発表に向けての準備

5 8/2

語りべになろう《発表》
制作したストーリー作品にナレーションやBGMをつけて、グループごとに発表

〈講師〉

栗本 智代

大阪ガスネットワーク株式会社
エネルギー・文化研究所
主席研究員

〈サポーター〉

ますの 隆平

NPO法人すみよし案内人の会
理事長

なにわ 慶子

一般社団法人大阪あそび
プレミアムガイド
難波宮遺構ガイド



語りべシアターについて(第1回)



グループでの制作(第3回)



各チーム工夫を凝らした発表(第5回)

受講者の声 (アンケートより)

- 短い時間で作品を完成させて満足感がありました。
- 参加型で色々と学ぶことが多かった。
- 仲間ができた。
- 熱のこもった各班の発表に感動した。



伝わる情報発信力アップコース

「伝える」から「伝わる」へ……しっかり届く発信力はプロジェクト作りからはいります。活動事例をもとに魅力的なプロジェクトづくりや情報発信のコツをワークを通して学びました。

日 時 1/20～2/10 毎週金曜日 19:00～21:00 全4回

参加者数 28名(のべ82名) **会 場** 総合生涯学習センター

1 1/20

発信力のカギはコンテンツ磨きから
小さく始めて大きく伝える! 発信力のコツについて

甲斐 健
クリエイティブディレクター/
交野おりひめ大学ファウンダー

2 1/27

ユニークな事例に学ぶ
魅力アップ&発信力アップ
女性が野生に目覚める家! その人気のヒミツを探る

松浦 めぐみ
きさいち邸
産巢日一むすびー管理人

3 2/3

インスタ女子に聞く 広報のつくり方①
インスタが苦手な人も大丈夫! サロンのSNS運営を覗く

仲野 日菜子
エステティシャン

4 2/10

発見と共感のあるコトバづくり 広報のつくり方②
大事なのはコンセプトづくり! ワークショップで体験

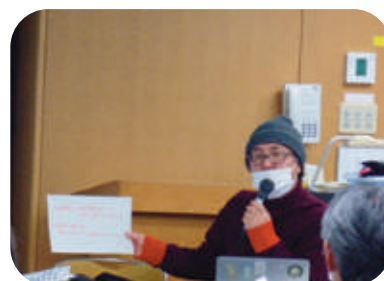
甲斐 健



個々のビジョンと課題確認について
ワーク&シェア(第2回)



SNS発信ツールについての説明(第3回)



講師: 甲斐健さん
受講者が考えた
キャッチコピーの紹介(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 事例に基づいた実践的な内容が多く、すぐに活かすことのできるものも多かったため、大変満足いく内容でした(短時間で濃密でした)。
- 調べたり考えたりすることが楽しかったです。
- 自分が発信するコトバ、写真、方法を相手側にたって考えていなかったことなど感じました。そういう所も考えて発信していきたいと思います。



取材カススキルアップコース

～インタビューのススメ 魅力の引き出し方教えます～

まちづくりに必要なスキル“取材カ”講座では、チームで取材を進めて、実際に地域へ出てお店や取り組みをインタビュー。取材～撮影～編集などを通して、地域の声に耳を傾けながら、地域とのコミュニケーションの一步を踏み出しました。

日 時 10/15～11/12 毎週土曜日 13:30～15:30 全5回

参加者数 23名(のべ82名)

会 場 阿倍野市民学習センター

1 10/15 受講者同士で取材体験
取材チームをつくるための一步として自己紹介&ゲーム

2 10/22 インタビューの基本・取材チームづくり
ゲスト講師:林さんを招き実際の取材事例を学ぶ。後半は取材チームづくり

3 10/29 取材(インタビュー、撮影)の準備・計画
チームに分かれて取材内容の準備・計画を進めていく

4 11 / 5 地域のお店を訪問してチームで取材を実践

5 11 / 12 取材内容をチームで動画に編集・発表

主任講師
平川 隆啓
地域コーディネーター

林 静香
一般社団法人codomoto
ままちゅ代表

野村監督
コピーライター

協力団体 あべのって



チームに分かれて取材の計画・準備



取材実践



取材動画の発表

受講者の声 (アンケートより)

- 取材し、動画編集を通して一つの作品に近い形のアウトプットができたのでよかったです。
- チームで取材をする難しさ楽しさ両方含めて多くの学びとなりました。
今後の活動に活かしたいと思います。
- 取材に行ってる臨場感が新鮮だった。日常と違うものでした。
- 今回初めてこのような講座を受講したが内容をまとめたり、編集したりと難しかったので時間的に忙しかったです。



共有・共感・協働する仲間づくりコース

福祉、ビジネス、地域コミュニティのまちづくり活動の生きた事例から、子ども、高齢者、障がい者といった“ごちゃまぜ”のコミュニティに存在する課題を共有・共感し、講師と受講者との双方向の意見交換などを通して、仲間を巻き込んで協働するまちづくりの手法を学びました。

日 時 7/2～7/16 毎週土曜日 13:30～16:30 全3回

参加者数 14名(のべ29名) 会 場 難波市民学習センター

1 7/2

オリエンテーション | 共有する —Normalization—

“自分の掘り起こし”を目標に、ごちゃまぜのまち「共生社会」の仲間づくりを考えるうえで、まず今いる人たちについて知り、自分の役割を探すヒントを学ぶ

主任講師
今井 司
Share de たかつき 代表/福祉家

2 7/9

共感する —Connection—

“仲間の洗い出し”を目標に、各地域やコミュニティが抱える課題を共感することによりつながる仲間の棚卸しや洗い出しを行う方法について

江澤 由
イベントコンサルタント

3 7/16

協働する | まとめ —Coordination—

“仲間の輪をつくる”を目標に、前2回で洗い出した趣味・人脈・スキルを生かしたそれぞれの相関図をつくり、仲間の輪を「見える化」する方法とこれからの仲間づくりについて

小笹 清
一般社団法人ハレマチフジデラ代表/
地域づくりパートナー

木戸 美伸
行政書士/
ヒト・コト・モノの見える化サポーター



主任講師 今井司さん(第1回)



“仲間の洗い出し”を発表する(第2回)



受講者の“仲間の輪(相関図)”を講師がチェック(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

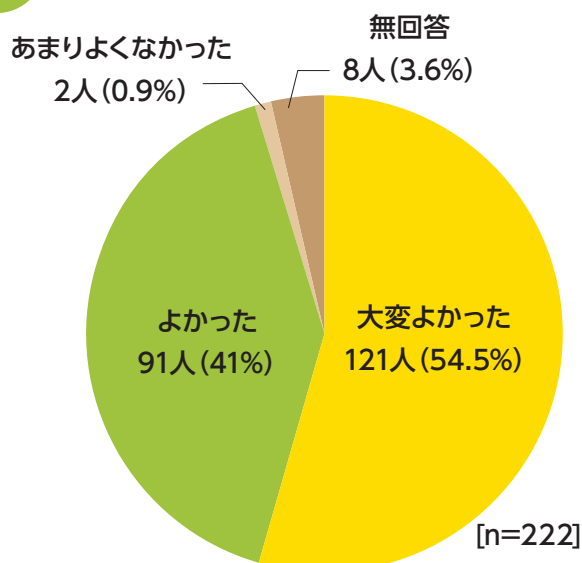
- 自分がやりたいこと、できそうなこと、仲間づくりから、主体的に動く大切さがわかりました。
- “仲間の洗い出し”をすることで自分の事に気づけました。
- 参加者の皆さんのそれぞれの特技がわかりました。

【令和4年度 いちょうカレッジ アンケート集計結果】

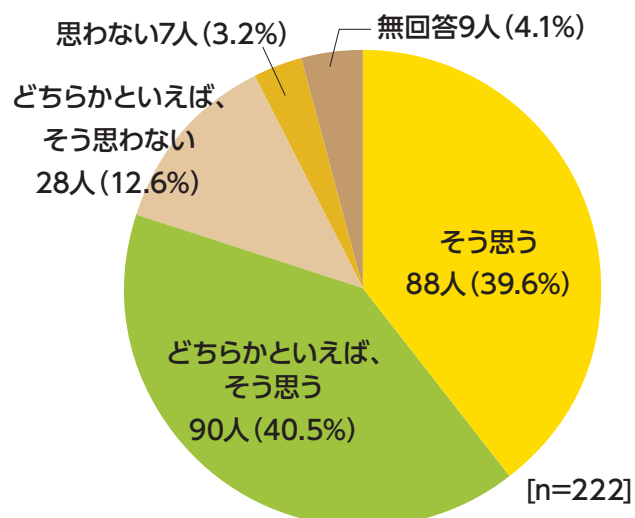
いちょうカレッジ受講実績

	コース名	定 員	応募者数	受講者数	のべ受講者数
入門科	大阪のまち・文化コース	23人	93人	38人	127人
	大阪のまち探検コース	30人	164人	36人	123人
プレ本科	まちクリエイト!入門コース	23人	23人	19人	85人
	大阪の魅力再発見コース	23人	175人	24人	92人
本 科	まちクリエイト!実践コース	20人	27人	22人	248人
	大阪の魅力発信コース	20人	43人	23人	231人
	特別コース「まちづくりの種まき」	20人	22人	18人	72人
専 科	いのちを守る防災コース	23人	34人	25人	105人
	こどもと地域社会コース	30人	37人	37人	123人
	まちの「語りべ」になろう	30人	22人	16人	65人
	伝わる情報発信力アップコース	30人	32人	28人	82人
	取材力スキルアップコース	25人	25人	23人	82人
	共有・共感・協働する仲間づくりコース	30人	20人	14人	29人
合 計		327人	717人	323人	1,464人

Q 講座の満足度はいかがでしたか？

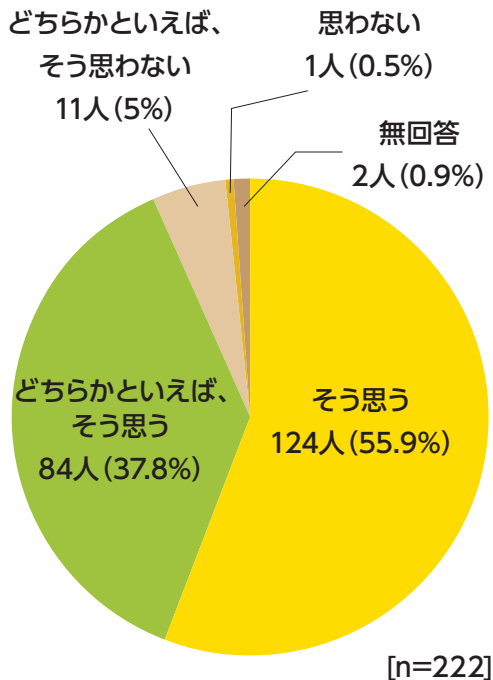


Q この講座で学んだことを活かして、ボランティア活動やグループ活動に関わりたいと思いますか？

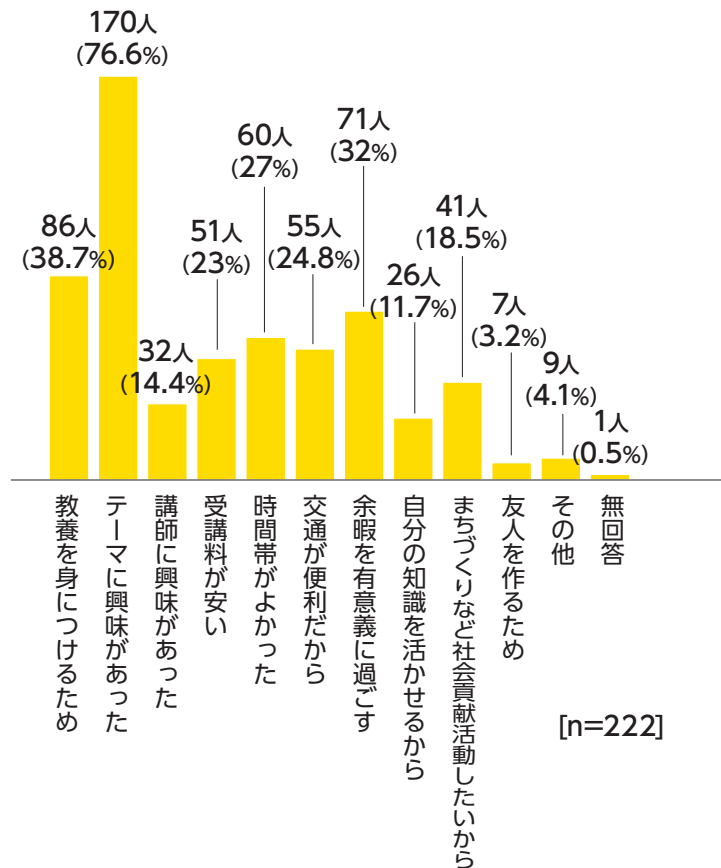




この講座を通して学んだ内容や関係するテーマなどについて、引き続き学習を続けたいと思いますか？



受講動機はなんですか？（複数回答）



受講者の声 （※アンケートより一部抜粋）

- 参加型でいろいろと学ぶことが多く、仲間ができました。
- 回を重ねるごとにワクワク感が高まってとても楽しかったです。
今後に生かしていきたいです。
- 自分が何をしていきたいのかが見えてきました。

令和5年度 いちょうカレッジの募集について

令和5年度のいちょうカレッジのご案内は、総合生涯学習センターのホームページ・SNSや、大阪市内の市民学習センター・区役所・区民情報センター・図書館等で配架予定の総合パンフレット・各コースの個別チラシをご覧ください。



HP:大阪市総合生涯学習センター「いちょうカレッジ」

<https://osakademanabu.com/college>



Facebook:「いちょうカレッジ」

<https://www.facebook.com/icho.college.OSAKACITY>



お問い合わせ



大阪市立総合生涯学習センター 企画推進課

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500(大阪駅前第2ビル5・6階)

TEL:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019

<https://osakademanabu.com/umeda/>

開館時間 午前9時30分～午後9時30分(日・祝は午後5時まで)

休館日 毎月第1・第3月曜日/年末年始(12月28日～1月4日)

令和4年度 大阪市生涯学習まちづくり市民大学
「いちょうカレッジ」報告書

編集・発行 大阪市立総合生涯学習センター
(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)
大阪市北区梅田1-2-2-500

発 行 日 令和5年3月



いちょう
カレージ
OSAKA CITY

● 主催 ●

大阪市立総合生涯学習センター
(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)